



2026年5月28日

各位

会社名 ジェイドグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 裕輔  
(コード番号：3558 東証グロース)  
問合せ先 取締役兼管理本部ディレクター 高 志成 俊  
(TEL. 03-5465-8022)

### 2027年2月期(2026年度)の業績予想に関して

靴とファッションの通販サイト、LOCONDO.jp (<https://locondo.jp>、以下「ロコンド」)などを運営するECモール事業、ブランド様の物流とITのDX支援を行うB2Bプラットフォーム事業、Reebok Japanやロイヤル、Fascinate、MANGOなどのグループブランドを展開するブランド事業の3つの事業を展開するジェイドグループ株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中裕輔、以下「ジェイドG」)は、昨日、2027年2月期の業績予想の開示を行いました。本日の株主総会資料にてその詳細に触れるため、こちらにて同時開示させていただきます。

#### JADE GROUP

#### 2026年度 計画値

	2025年度	2026年度	差異要因
取扱高	459億円	480億円	マガシークECS(BOEM)の解約影響で既存事業の取扱高は下がるものの、ロイヤル取扱高が通年加算されるため+21億円
×			
貢献利益率	16.1%	16.8%	配送費用や資材費の高騰影響でコスト比率は上がるものの、PMI(統合)効果による利益率向上およびコラボ商品の影響で貢献利益率は+0.7%
-			
間接固定費	51.1億円	58.5億円	PMIによって既存事業の固定費は削減されるものの、新倉庫の家賃増とロイヤルの通年加算で+7.4億円。新倉庫の活用見直しによって来年度以降は年間5億円の削減に向けて活動中
+			
その他事業* 営業利益	1.3億円	2.5億円	純粋な物流受託事業(ロイヤルロジスティクス+羽生倉庫)。羽生は変わらず。ロイヤルロジスティクスの受託活動は順調に推移
=			
営業利益	24.0億円	25.0億円	結果、昨年度と比べて+1億円。但し、今後のさらなるM&Aやコラボの影響は加算していないため、ココからの積み増しを目指していく

1

昨年度は2025年4月14日に開示した業績予想値(取扱高450億円、営業利益15億円)のうち、営業利益を15億円から20億円に上方修正し(2026年1月14日)、結果、取扱高は459億円、営業利益は24億円で着地致しました(営業利益は昨年対比で+56.6%)。

今年度も昨年度同様の業績推移をすべく、既存事業の有機的な成長に加えて、さらなるM&Aやコラボレーション策によってジェイドG全体のさらなる発展を目指します。

以上